

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: 20石灰窒素 (石灰窒素 粒状キルン品)
会社名	: 片倉コーポアグリ株式会社
住 所	: 東京都千代田区九段北一丁目8番10号
担当部門	: 生産技術本部 生産技術部
電話番号	: 03-5216-6614
FAX番号	: 03-5216-6621
緊急連絡先	: 03-5216-6614
推奨用途及び使用上の制限	: 肥料、農薬、工業用原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 火薬類	分類対象外
: 可燃性/引火性ガス	分類対象外
: 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
: 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
: 高圧ガス	分類対象外
: 引火性液体	分類対象外
: 可燃性固体	分類できない
: 自己反応性化学品	分類対象外
: 自然発火性液体	分類対象外
: 自然発火性固体	区分外
: 自己発熱性化学品	区分外
: 水反応可燃性化学品	区分外
: 酸化性液体	分類対象外
: 酸化性固体	分類対象外
: 有機過酸化物	分類対象外
: 金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口)	区分 4
: 急性毒性(経皮)	区分 5
: 急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト)	分類対象外
: 急性毒性(吸入:粉じん)	区分 4
: 皮膚腐食性/刺激性	区分 2
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
: 呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
: 生殖細胞変異原性	分類できない
: 発がん性	分類できない
: 生殖毒性	分類できない
: 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分 3(呼吸器系)
: 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
: 吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性(急性)	区分 2
: 水生環境有害性(慢性)	区分 2
: オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

: 危険
: 飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
吸入すると有害(粉じん)
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

: 【安全対策】
適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性
防除衣を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名、別名

: 混合物
: カルシウムシアナミド(CaCN₂) : 55%
酸化カルシウム(CaO)等 : 45%

成分及び含有量

: 窒素全量(TN) 20% (成分表示は保証成分に限る)

アルカリ分 55%

CAS番号

: カルシウムシアナミド 156-62-7

酸化カルシウム 1305-78-8

炭素 7440-44-0

官報公示整理番号

: カルシウムシアナミド (化審法番号)1-121

(化審法・安衛法)

酸化カルシウム (化審法番号)1-189

PRTR法

: 政令番号:77 (第一種指定化学物質)

(化学物質排出把握管理促進法) カルシウムシアナミド

55%

4. 応急措置

吸入した場合

: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で
休息させる。多量の場合、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

: 付着部又は接触部を石鹼できれいに洗い流す。外観に変化が見ら
れたり痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。

目に入った場合

: 清浄な水で15分間以上洗浄する。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るよう
に洗浄する。

直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

: 正気な場合、水か牛乳を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。
被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。
また、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、砂
使ってはならない消火剤 : 水、泡消火剤
消火方法 : 適切な消火剤を使用する。
周辺火災の消火活動を行う。
容器内に水を入れてはいけない。
できれば容器を危険地域外に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用し拭取り回収を行うこと。
環境に対する注意事項 : 公共用水域に流出しないように留意すること。
回収・中和 : シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項 : 24時間は飲酒しない。
適切な保護具を着用する。
破袋しないよう注意する。
水濡れに注意する。
保管上の注意事項 : 施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
日本産衛学会(2005年) : 設定されていない。
ACGIH(2005年) : TLV-TWA 0.5 mg/m³
設備対策 : 換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。
保護具
呼吸器の保護具 : 保護マスク
手の保護具 : 不浸透性手袋
眼の保護具 : 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性防除衣、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など : 灰黒色の粒状物
臭い : データなし
pH : 12~13(肥料分析法に準ずる)
融点 : データなし
比重又は嵩比重 : 0. 9~1. 2
溶解度 : 可溶(水)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 空気中に放置すれば、水及び二酸化炭素を吸収して、酸化カルシウム及びジシアソジアミドを生じる。
水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
その他 : 水と反応して、体積膨張し容器を破壊することがある。

11. 有害性情報

急性毒性(50%致死量等含む) : ラット(経口) LD₅₀ 700mg/kg
皮膚腐食性・刺激性 : 長時間接触し発汗を伴うと、潰傷・発疹することがある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼を刺激し、粘膜を侵すことがある。
慢性毒性・ガン原生 : 認められていない(医薬品シアナミドによる長期投与例による)

変異原生	: データなし
その他	: 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。 取扱中に吸入すると咽喉や気管支に炎症を起こすことがある。 取扱中に吸入した後に飲酒すると、軽い中毒作用を起こすことがある。 (頭や上半身の充血、呼吸困難、心臓の興奮、心拍の進時には嘔吐や下痢を伴うこともある。)

12. 環境影響情報

分解性	: 土壤中で分解しアンモニア、水酸化カルシウム、炭酸カルシウム、炭酸ガスとなる。
魚毒性	: TLM 150ppm

13. 廃棄上の注意

	: 水溶液は、強アルカリ性のため中和等の処理が必要である。 分解の終了まで動植物に影響があり、一箇所に多量に廃棄しない。 下水、河川への直接廃棄しない。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。
--	--

14. 輸送上の注意

国際規則	: 該当しない。
国内規則	
陸上規制情報	: 該当しない。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	: 海上輸送や水濡れに注意すること。 破袋しないよう丁寧に取扱うこと。

15. 適用法令

肥料取締法	: 石灰窒素(第3条 公定規格)
農薬取締法	: 石灰窒素(第2条)
水質汚濁防止法	: 生活環境の保全に関する環境基準項目(全窒素)
労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 政令番号77号 カルシウムシアナミド

16. その他の情報

参考文献

- 14705の化学商品 2005年 (化学工業日報社)
- 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)
- GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- GHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)
- 黒須健一:石灰窒素中毒の実験研究(産業医学2巻7号557-593)(昭和32年)
- 黒須健一:石灰窒素中毒の一症例(農村医学7巻3号226-238)(昭和32年)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。

危険・有害性の評価は、現時点での入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。

注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮をお願いします。